

2022年度 シラバス（授業細目表）

科目名	資格取得 フラワー装飾技能士2級		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	5月～6月	時間数	45		単位数 1.5
授業概要	フラワー装飾技能士2級合格を目指し、デザインにおける基本的な知識と技術を習得する。	到達目標	フラワー装飾技能士2級合格		
担当教員 プロフィール	山崎佳代子 公益社団法人日本フラワーデザイナー協会本部講師。職業訓練指導員。1級フラワー装飾技能士。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。 小池智子 公益社団法人日本フラワーデザイナー協会本部講師。職業訓練指導員。1級フラワー装飾技能士。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。				
テキスト・教材	学科問題集 実技試験問題（プリント）				
成績評価方法	筆記試験50% レポート0% 実技50% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	試験内容説明 実技演習①	試験内容説明 課題1 花束A	講義・演習 AM:Aグループ PM:Bグループ
2	実技演習②	課題2 トライアングラー・ファン	演習 AM:Aグループ PM:Bグループ
3	実技演習③	課題1 花束B・花束A	演習
4	実技演習④	課題3 キャスケード	演習
5	実技演習⑤	課題2 ホリゾンタル 他	演習
6	実技演習⑥	課題3 クレセント	演習
7	模擬試験①	課題1 花束 課題2 アレンジメント	演習
8	模擬試験②	課題3 ブーケ	演習
9	模擬試験③	課題1 花束 課題2 アレンジメント	演習
10	模擬試験④	課題3 ブーケ	演習
11			
12		※Aグループ：BFコース9名+FDコース2129・2131・2133（12名） ※Bグループ：FDコース2101～2124（12名）	
13			
14		※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間（0.5単位）を認定する	
15		※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間（0.5単位）を認定する	
16			
他教科との関連 フラワーデザイン		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間（1単位）認定する。

2022年度 シラバス (授業細目表)

科目名	資格取得 フラワー装飾技能士3級			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	6月～7月	時間数	45		単位数	1.5
授業概要	フラワー装飾技能士3級合格を目指し、デザインにおける基本的な知識と技術を習得する。	到達目標	フラワー装飾技能士3級合格			
担当教員 プロフィール	高野真樹子 1級フラワー装飾技能士。本校実習店舗スタッフ。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。 水本寿美江 1級フラワー装飾技能士。本校教員として10年以上フラワーデザインの技術指導に携わる。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。					
テキスト・教材	学科問題集 実技試験問題 (プリント)					
成績評価方法	筆記試験50% レポート0% 実技50% 発表0% その他 (出席率・授業態度など) 0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	試験内容説明 実技演習①	試験内容説明 ブートニアの制作方法を学ぶ	講義・演習 AM:Aグループ PM:Bグループ
2	実技演習②	花束・リボンの制作方法を学ぶ ブートニアの制作方法復習	演習 AM:Aグループ PM:Bグループ
3	実技演習③	花束の制作方法復習 アレンジメントの制作方法を学ぶ	演習 AM:Aグループ PM:Bグループ
4	実技演習④	リボン・花束・アレンジメント・ブートニアの復習	演習 AM:Aグループ PM:Bグループ
5	模擬試験①	本番同様に時間を図って実技試験復習	演習
6	模擬試験②	本番同様に時間を図って実技試験復習	演習
7	模擬試験③	本番同様に時間を図って実技試験復習	演習
8	模擬試験④	本番同様に時間を図って実技試験復習	演習
9			
10		※Aグループ：学籍番号2201～2222 (14名) ※Bグループ：学籍番号2223～2243 (13名)	
11			
12			
13		※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間 (0.5単位) を認定する	
14		※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間 (0.5単位) を認定する	
15			
他教科との関連 フラワーデザイン		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間 (1単位) 認定する。

2022年度 シラバス（授業細目表）

科目名	資格取得 園芸装飾技能士3級		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	5月～7月	時間数	45		単位数
授業概要	園芸装飾技能士3級合格を目指し、必要な知識と技術を習得する。 1年次の選択「園芸装飾」受講は必須	到達目標	園芸装飾技能士3級合格		
担当教員 プロフィール	狩野歩 大学・専門学校で園芸を学び、インドアガーデンや造園・貸植木の会社で実務経験を積む。現在は、おもに植栽関連の仕事に従事。園芸装飾技能士1級・職業訓練指導員免許を持つ。豊富な実務経験をもとに、より実践的な指導で合格を目指す。				
テキスト・教材	園芸装飾必携 過去問題集				
成績評価方法	筆記試験0% レポート0% 実技90% 発表0% その他（出席率・授業態度など）10%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	観葉植物の知識①	インドアガーデンに使用する植物・資材・道具	講義
2	観葉植物の知識②	観葉植物の維持管理・病害虫と防ぎ方 演習：人口緑化杉テープの止め方	講義・演習
3	技能検定に向けて①	学科試験対策 演習：突き棒・竹べら作り	講義・演習
4	技能検定に向けて②	学科試験対策	講義
5	技能検定に向けて③	実技試験反復練習	演習 Aグループ
6	技能検定に向けて④	実技試験反復練習	演習 Aグループ
7	技能検定に向けて⑤	実技試験反復練習	演習 Aグループ
8	技能検定に向けて⑥	実技試験反復練習	演習 Aグループ
9	技能検定に向けて③	実技試験反復練習	演習 Bグループ
10	技能検定に向けて④	実技試験反復練習	演習 Bグループ
11	技能検定に向けて⑤	実技試験反復練習	演習 Bグループ
12	技能検定に向けて⑥	実技試験反復練習	演習 Bグループ
13			
14		※Aグループ：学籍番号2102・2110・2112・2114・2116・2117 ※Bグループ：学籍番号2124・2125・2130・2131・2133	
15			
		※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間（0.5単位）を認定する	
		※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間（0.5単位）を認定する	
他教科との関連 園芸装飾 グリーンデザイン	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。		備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間（1単位）認定する。

2022年度 シラバス (授業細目表)

科目名	資格取得 カラーコーディネーター スタンダードクラス		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	9月～10月	時間数	45	単位数	1.5
授業概要	カラーコーディネーター スタンダードクラスの合格を目指し、色彩の基礎知識を身に付ける。	到達目標	カラーコーディネーター スタンダードクラス合格		
担当教員 プロフィール	菅原奈美 女子美術大学大学院美術研究科デザイン専攻修士課程修了。 植物染色、色彩学を専門とし、天然染料の媒染剤の違いによる染め色の傾向などを研究。				
テキスト・教材	カラーコーディネーター検定試験スタンダードクラス公式テキスト プリント教材 新配色カード199a				
成績評価方法	筆記試験10% レポート0% 実技10% 発表0% その他(出席率・授業態度など)80%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	色の基礎事項、色の分類、PCCS	色を学ぶ上での基本の内容(色の分類、光と色、色の三属性など)およびPCCSのカラーシステムについて理解する。	講義・演習
2	色の表示方法、色名と名前のつけ方、マンセル表色系、補色と混色	色の表示方法の分類について、色名とマンセル表色系をメインに学ぶ。補色の関係について学ぶために混色についても触れる。	講義・演習
3	生活と色の効用、配色を知る	彩のイメージや色がもたらす効果について理解する。色彩調和論及び色相。メイド。再度。トーンによる配色を学ぶ。配色カードなどを使い配色を行い理解を深める。	講義・演習
4	配色を使いこなす	ナチュラルハーモニーなどの配色用語や技法を学ぶ。配色カードやカラーチャートを使い配色を行い理解を深める。	講義・演習
5	色を美しく見せる光のマジック	光の性質を理解した上で、光から生まれる様々な色の現象とその応用事例を学ぶ。さらに、照明について理解する。	講義・演習
6	背景色を上手に使う色見えを変えてみよう	色がなぜ見えるのか、眼の機能を学ぶ。色の組み合わせで変化する色見え方や視覚効果について理解する。	講義・演習
7	色で売り上げをアップするために	消費者に選択される色を生み出すための調査分析方法や、色を開発するプロセスなどを学ぶ。試験に向け理解度を確認する。	講義・演習
8			
9			
10			
11			
12		※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間(0.5単位)を認定する	
13		※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間(0.5単位)を認定する	
14			
15			
他教科との関連	カラーコーディネーター	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間(1単位)認定する。

2022年度 シラバス (授業細目表)

科目名	資格取得 リテールマーケティング3級		履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	11月～2月	時間数	45	単位数	1.5
授業概要	リテールマーケティング3級の合格を目指し、販売小売業の基礎知識を身に付ける。	到達目標	リテールマーケティング3級合格		
担当教員 プロフィール	武石美則 日本販売士協会認定登録講師。販売事務・計数管理の基礎をわかりやすく解説、全員合格を目指した授業展開を行う。コンサルティング会社代表取締役であり、経営コンサルティング及び役員・社員向けのビジネスリテラシーの講師を行う。				
テキスト・教材	3級リテールマーケティング検定養成講習会ハンドブック 自作プリント 電卓				
成績評価方法	筆記試験100% レポート0% 実技0% 発表0% その他(出席率・授業態度など)0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	小売業の類型①	流通における小売業の基本 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
2	小売業の類型②	店舗形態別小売業の基本的役割 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
3	販売・経営管理①	販売員の法令 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
4	販売・経営管理② 予備試験	計数管理の基本 他 「販売・経営管理」科目免除のための予備試験	講義・演習
5	マーチャンダイジング①	商品の基本 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
6	マーチャンダイジング②	販売計画・仕入れ計画の基本 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
7	ストアオペレーション①	包装技術の基本 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
8	ストアオペレーション②	ディスプレイの基本 講義内容理解度テスト	講義・演習
9	マーケティング①	小売業のマーケティングの基本 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
10	マーケティング②	リージョナルプロモーション 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
11	科目別復習①	「小売業の類型」模擬問題 解答・解説・採点	講義・演習
12	科目別復習②	「マーチャンダイジング」模擬問題 解答・解説・採点	講義・演習
13	科目別復習③	「ストアオペレーション」模擬問題 解答・解説・採点	講義・演習
14	科目別復習④	「マーケティング」模擬問題 解答・解説・採点	講義・演習
15	総合模擬試験	受験直前全科目総合模擬試験 解答・解説・採点	講義・演習
※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間(0.5単位)を認定する ※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間(0.5単位)を認定する			
他教科との関連 ショップ会計の基礎知識		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間(1単位)認定する。

2022年度 シラバス（授業細目表）

科目名	資格取得 NFD3級・2級		履修区分	必修	選択
受講対象	全学年 全コース	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	12月・2月	時間数	45	単位数	1.5
授業概要	花の業界で認知度の高いフラワーデザインの資格、NFD（日本フラワーデザイナー協会）の技術資格試験合格を目指し、デザインにおける基本的な知識と技術を習得する。	到達目標	それぞれが目指す級の合格を目指す		
担当教員 プロフィール	山崎佳子 公益社団法人日本フラワーデザイナー協会本部講師。職業訓練指導員。1級フラワー装飾技能士。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。 小池智子 公益社団法人日本フラワーデザイナー協会本部講師。職業訓練指導員。1級フラワー装飾技能士。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。				
テキスト・教材	NFDフラワーデザイナー 資格検定テキスト				
成績評価方法	筆記試験50% レポート0% 実技50% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。		

授 業 計 画

回	指導項目	指導内容	備考
1	試験内容説明 実技演習①	試験内容説明 出題テーマ、支給花材は試験日の1ヶ月前の同日に発表	講義・演習
2	実技演習②	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
3	実技演習③	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
4	実技演習④	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
5	実技演習⑤	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
6	実技演習⑥	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
7	実技演習⑦	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
8	実技演習⑧	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
9			
10			
11			
12		※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間（0.5単位）を認定する	
13		※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間（0.5単位）を認定する	
14			
15			
他教科との関連 フラワーデザイン	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。		備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間（1単位）認定する。